



## 本田 積先生の御逝去を悼む

附属学校部 原 田 正 壮

全児童、全教職員が敬慕し信頼申し上げておりました、本田 積副校長先生が、呼吸器不全のため、去る1月7日、53才でお亡くなりになりました。もっと長い間、副校長先生とお呼びしたかった、もっと長い間、御教導いただきましたかったという痛恨の思いが、私達の胸臆深くよりこみ上げてまいります。

先生は、昭和36年3月広島大学教育学部を御卒業後、鳥根県内の小、中学校教諭を歴任され、昭和43年4月附属東雲小学校教諭に就任されました。爾来、東雲教育の充実、発展に貢献される一方、算数教育の実践研究に励まれました。人間味あふれるお人柄と、高邁

な識見とに支えられた先生の授業は、まさに芸術の域に達しており、その理論と実践は高く評価され、各地で行われる研究会に指導助言者として招かれることも多く、教科書の執筆者の一人にも迎えられました。

平成2年4月副校長の要職に就かれた先生を中心に、全教職員一丸となって東雲教育の創造に邁進しておりましたその矢先、不帰の客となられましたことは、まことに哀惜悲痛の極みでございます。

先生の御遺志を全教職員が謹んで継承して参りますこととお誓い申し上げますとともに、心から御冥福をお祈り申し上げます。

